

【2018年11月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が32冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『不道德お母さん講座 私たちはなぜ母性と自己犠牲に感動するのか』	堀越英美著	河出書房新社	2018年	150.2ホ キイロ	読書、母、感動をテーマに、歴史を遡り、学校と読み物を通じて形成された国民道徳や、母性幻想、自己犠牲賛美にみちた道徳観がいかに作られたかを明らかにする。
『女の人間関係はめんどうなのよ 人付き合いの処方箋』	DJあおい著	KADOKAWA	2018年	159.6デ オレンジ	人づきあいが辛い、疲れるといっても、人は気を使い合ってつながっているもの。まずは自分の性格と向き合い、自分の負担にならないような、正しい気の使い方とは。
『ママ起業家 これだけ知っておけば十分 税金+社会保険&経営の便利ブック』	岡京子著	セルバ出版	2017年	335オ ミズイロ	配偶者控除や社会保険の扶養から外れることなど、ママ起業家がよくわからずにモヤモヤしているお金まわりの問題に答える解説書。
『マイペースで働く！ 自宅でひとり起業 仕事図鑑』	滝岡幸子著	同文館出版	2018年	335タ ミズイロ	ひとり起業とは、「たったひとりで起業し、ビジネスを継続していくこと」。そして「社長・事業主自身のスキルや知識を売る商売」。その基礎知識やさまざまな仕事を紹介する。
『他人をバカにしたがる男たち』	河合薫著	日本経済新聞出版社	2017年	361.4カ ミドリ	上だけを見て仕事をする、反論してこない人にだけ高圧的、相手の肩書・学歴で態度が別人。そんな、女性の中でも進む「ジジイ化」を防ぐために必要なものは何かを指南する。
『働く女性 ほんとの格差』	石塚由紀夫著	日本経済新聞出版社	2018年	366.3イ ミズイロ	女性活躍推進に対し、実感がないと答える多くの女性たち。負け組感覚を持つ輝けていない女性たちに焦点をあて、女女格差の裏側から職場改善の処方箋を示すルポルターージュ。
『第3版 予防・解決 職場のパワハラ・セクハラ・メンタルヘルス —マタハラ・SOGIハラ・LGBT 雇用上の責任 と防止措置義務・被害対応と対処法—』	水谷英夫著	日本加除出版	2018年	366.3ミ ミズイロ	近年大きな社会問題となっているさまざまなハラスメントを取り上げ、それによるメンタル不全で悩んでいた、相談業務を担当している人たちに役立つ一冊。
『「ほとんどない」ことにされている側から見た 社会の話を。』	小川たまか著	タバックス	2018年	367.1オ ミドリ	性暴力被害、痴漢犯罪、ジェンダー格差、女性蔑視CMなど、多くの方がフタをする問題取材し、発信してきたライターの記事。
『北欧に学ぶ小さなフェミニストの本』	サッサ・ブーレグレン作 柁谷玲子訳	岩崎書店	2018年	367.1サ ミドリ	「フェミニストとは、男女がともにいたわり、思いやり、仲良く生きていくには、どうしたらいいか考え、行動する人のこと」。男女平等の先進国スウェーデンからのメッセージ。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『問題だらけの女性たち』	ジャッキー・フレミング著 松田青子訳	河出書房新社	2018年	367.1ジ ミドリ	19世紀ヴィクトリア朝時代の女性たちが、いかにバカバカしい迷信と固定観念に苦しんだか。笑うに笑えない女性観を、ユーモアと皮肉ですくい上げる。
『ふえみん聞き書き集 めげない女たちの物語 ―戦後70年、歩み続けて―』	ふえみん聞き書き プロジェクト編	ふえみん 婦人民主クラブ	2017年	367.1フ ミドリ	平和問題を柱に女性の人権、環境破壊を阻む活動に取り組んできた女性たち21人の物語。
『女性の就業、結婚、出産に関する 行動、価値観の国際比較 ―日本、韓国、台湾のパネルデータを用いた 実証分析―』	萩原里紗著	公益財団法人 三菱経済研究所	2018年	367.2ハ ミドリ	日本、韓国、台湾で共通の目的となっている少子化問題の解消、仕事と家庭の両立を達成するために、国際比較を行い、各国の特徴を明らかにする。
『ふつうの非婚出産 シングルマザー、新しい「かぞく」を生きる』	榎畑敦子著	イースト・プレス	2018年	367.4ハ キイロ	「結婚しないで出産したらどういう子育てのやり方があるか」を模索し、積極的非婚出産を果たした著者によるエッセイ。家族とは？ 結婚とは？
『夫からのモラル・ハラスメント 愛する人からの精神的イジメ 苦しいのは あなた一人じゃない』	まっち〜著	河出書房新社	2014年	367.4マ キイロ	夫からの精神的いじめ“モラル・ハラスメント”を克明に記録したブログを書籍化。モラハラと気づいてから離婚するまでの闘いや、辛さを乗り越え自分を愛する心を掴むまでを綴る。
『性教育はどうして必要なんだろう？ 包括的性教育をすすめるための50のQ&A』	浅井春夫、長香織、 鶴田敦子編著	大月書店	2018年	367.9ア オレンジ	性や性教育の現状を多角的に見て、性教育をどう積み重ねていけばよいか。人権を基軸とした国際標準の性教育の要点を、コンパクトに解説する。
『総務部長はトランスジェンダー 父として、女として』	岡部鈴著	文藝春秋	2018年	367.9オ オレンジ	「これからは女性として生きていく」と社内メールでカミングアウトしたアラフィフ・妻子ありの総務部長が、日々悩みながら自分らしい生き方を全うしようとするノンフィクション。
『少女のための性の話』	三砂ちづる著	ミツイ パブリッシング	2018年	367.9ミ オレンジ	学校も親も伝えにくい性の知識。自分のからだを受け入れ、女の子の自己肯定感を高める27篇。
『理系という生き方 東工大講義 生涯を賭けるテーマをいかに選ぶか』	最相葉月著	ポプラ社	2018年	367サ ミドリ	第一線で活躍する科学者たちは、どう挫折を乗り越え、「今までにないもの」を生み出してきたのか。科学者の生き方にみる、思考のヒント。
『女性の視点でつくる社会科授業』	升野伸子、國分麻里、 金珪辰編	学文社	2018年	367マ ミドリ	小中高大の女性教員たちが、自らのジェンダー意識と女性の視点から行った授業実践を、児童・生徒・学生の認識とともに提示し、分析する。
『アディクションと家族 第33巻2号』	家族機能研究所編	日本嗜癖行動学会	2018年	368.6カ オレンジ	特集「性暴力―被害と加害をめぐって」

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『現代思想 7月号』		青土社	2018年	368.6ゲ オレンジ	特集「性暴力＝セクハラ＝フェミニズムとMeToo」
『男が痴漢になる理由』	斉藤章佳著	イースト・プレス	2017年	368.6サ オレンジ	誤った痴漢像が定着している社会において、痴漢の実態を知り、彼らが何を考え、痴漢行為をとおして何を得ているかを知ること、痴漢撲滅への方策を探る。
『性暴力被害者の法的支援 —性的自己決定権・性的人格権の確立に向けて—』	特定非営利活動法人 性暴力救援センター・ 大阪SACHICO編	信山社	2017年	368.6セ オレンジ	日本で初めての性暴力被害者支援ワンストップセンターの7年間の経験を踏まえた支援の手引書。
『不可視の性暴力 —性風俗従事者と被害の序列』	田中麻子著	大月書店	2016年	368.6タ オレンジ	性暴力の中でも最も不可視化されている性風俗従事者に対する被害の実態をつまびらかにし、状況改善のための糸口を考える。
『被災地から学ぶ かぞくの防災』	一般財団法人 日本アムウェイ財団、 徳間書店かぞくの防災 調査班著	徳間書店	2018年	369.3ニ ピンク	被災地からの感謝の気持ちとアドバイスが込められた家族を守るための一冊。あると便利な防災グッズなども紹介。
『国立がん研究センターの 乳がんの本』	木下貴之、 田村研治監修	小学館 クリエイティブ	2018年	495.4キ オレンジ	乳がんに関する基本的な知識、検査や治療の方法、治療後の療養などについて、図版もまじえてわかりやすく解説する。
『ふたりは同時に親になる』	狩野さやか著	猿江商會	2017年	599カ キイロ	働き方改革などの大きな社会問題では語れない、産後多くの夫婦が困惑している「ずれ」を補正するための材料を提示する。
『家族ほど笑えるものはない』	カフカヤマモト著	KADOKAWA	2017年	726.1カ チャイロ	インスタグラムに投稿した絵日記が人気を集める著者によるイラストエッセイ集。平凡な家族の、特別な日々。
『マリコ、うまくいくよ』	益田ミリ著	新潮社	2018年	726.1マ チャイロ	「がんばればむくわれるのかな、働くなってなんなんだろう」。社会人2年目、12年目、20年目。同じ職場の3人のマリコたちの姿を描く仕事漫画。
『お多福来い来い てんてんの落語案内』	細川貂々著	小学館	2018年	779.1ホ チャイロ	物事をなんでも悪い方に考えてしまう…。そんな生きづらさを感じていた「ネガティブ思考クィーン」の漫画家が、落語と出会い幸せと希望を見つけるコミック・エッセイ集。
『日本のヤバい女の子』	はらだ有彩著	柏書房	2018年	910.2ハ チャイロ	おかめ、かぐや姫、皿屋敷お菊など、日本の民話や古典、神話に登場する女性たちの心情を読み解くイラストエッセイ集。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『いろいろ いろんな かぞくのほん』	メアリ・ホフマン文 ロス・アスキス絵 杉本詠美訳	少年写真新聞社	2018年	E×	多様化する家族の形を紹介する絵本。